

ひょうご講座

テーマ「情報」の視点からの環境科学へのアプローチ 受講者 30人

日 時	プログラム	職名	氏 名
5月17日	はじめに	教授	蛭名邦禎
5月24日	自然環境情報とその解釈の困難さ - 気候変動や水質を例として -	教授	寺門靖高
5月31日	地球圏の放射線と生体	教授	中川和道
6月7日	衛星からの環境情報	助教授	伊藤真之
6月14日	生態系の化学情報	教授	尼川大作
6月21日	遺伝子変異と環境	助教授	安達卓
6月28日	バイオインフォマティクスと環境科学	教授	田中成典
7月5日	大気汚染を「観る」	教授	田結庄良昭
7月12日	植生と環境	教授	武田義明

大学等開放推進事業

区 分	講座名	職名	氏 名
大学 Jr.サイエンス事業	神戸大学 工作・表現教室 <感動を呼ぶ版画表現> 講座	教授	鈴木幹雄

5 - 6 . 附属施設関係

5 - 6 - 1 . 発達支援インスティテュートヒューマン・コミュニティ創成研究センター

ヒューマン・コミュニティ創成研究センターにおけるネットワーク型研究者集団

部門	学外研究員(人)	学内研究員(人)
ヘルスプロモーション	16	2
子ども・家庭支援	12	7
ボランティア社会・学習支援	8	2
ジェンダー研究・学習支援	9	3
障害共生支援	17	5
労働・成人教育支援	10	4
プロジェクト研究(市民の科学と大学)	2	10
計	74	33

学外部門研究員の分野別内訳

大学関係	14
小中高等学校・保育園関係	14
行政関係	12
NPO等団体	14
企業一般	5
その他個人	15
計	74

サイエンスカフェ

開催日	テーマ	ゲスト			場所	参加人数 (概数)
		氏名	所属等	職名		
3月25日	スポーツとテクノロジー	宮地 力	国立スポーツ科学センタースポーツ科学研究部	副主任研究員	tete a tete(テテ・ア・テテ)	20
3月23日	What is ラジオあくていびてい? -放射線が人体に与える影響につい	アーネスト・スターングラス	ピッツバーグ医科大学	名誉教授	のびやかスペース「あーち」	35
		ローレン・モレ	元ローレンス・リバモア核兵器研究所	研究員		
3月20日	これからの科学者	小川 正賢	神戸大学発達科学部	教授	Evian Coffee Shop	40
		山中 大	神戸大学大学院自然科学研究科	教授		
		村瀬 雅俊	京都大学基礎物理学研究所	助教授		
		馬場 健一	神戸大学大学院法学研究科	教授		
3月9日	太陽系の科学 - 月・惑星の世界	中村 昭子	神戸大学大学院自然科学研究科	助教授	tete a tete(テテ・ア・テテ)	30
2月4日	素粒子と宇宙	平田 成	神戸大学大学院自然科学研究科	COE研究員	みみずく舎	40
2月1日	量子コンピュータ	野崎 光昭	神戸大学理学部	教授	KULUSKA(兵庫県立美術館・原田の森ギャラリー)	20
1月28日	地球温暖化問題を考える	浅岡 美恵	浅岡法律事務所	弁護士	兵庫県立美術館・原田の森ギャラリー別館401講義室	50
		石川 雅紀	経済学研究科	教授		
		盛山 正仁		衆議院議員		
1月21日	数学とテクノロジー	高橋 正	神戸大学発達科学部	教授	カフェ「びーあん」	20
12月6日	アートとサイエンス(1) - 大地と鉄 -	塚脇 淳	神戸大学発達科学部	教授	ギャラリー島田	35
12月1日	量子と素粒子	梶名 邦禎	神戸大学発達科学部	教授	北野工房のまち	30
	森井 俊行	神戸大学	名誉教授			
10月29日	アインシュタインの相対性理論は間違っているか?	松田卓也	神戸大学理学部	教授	神戸酒心館	80
	神戸周辺の水と環境	寺門靖高	神戸大学発達科学部	教授		
	宇宙とニュートリノ	原 俊雄	神戸大学理学部	助教授		
	最初の生命はどこで生まれたか?	中川和道	神戸大学発達科学部	教授		

5 - 6 - 2 . 発達支援インスティテュートヒューマン・コミュニティ創成研究センター のびやかスペース「あーち」

「のびやかスペースあーち」利用者等の内訳(2005年9月～2006年3月)

		9月				10月				11月				12月				(人)
		ふらっと	あーと	こらぼ	計	ふらっと	あーと	こらぼ	計	ふらっと	あーと	こらぼ	計	ふらっと	あーと	こらぼ	計	
利用者数	子ども	621	202	77	900	725	148	103	976	612	118	208	938	566	156	128	850	
	おとな	545	86	100	731	602	94	302	998	532	56	239	827	377	90	140	607	
スタッフ数	学生				93				73				73				79	
	地域				74				69				73				80	
		1月				2月				3月				累計				
		ふらっと	あーと	こらぼ	計	ふらっと	あーと	こらぼ	計	ふらっと	あーと	こらぼ	計					
利用者数	子ども	441	114	87	642	502	124	121	747	580	104	100	784	5,837				
	おとな	370	67	160	592	429	92	227	748	485	75	210	770	5,273				
スタッフ数	学生				48				50				60	476				
	地域				41				97				116	550				

- 1 ふらっと ... 乳児・幼児を対象とした遊戯スペース
- 2 あーと ... 画材に囲まれた自由な造形活動を行うスペース
- 3 こらぼ ... 様々な企画を実施するスペース

5 - 6 - 3 . 発達支援インスティテュート心理教育相談室

受付状況

区 分	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
電話受付数	43	29	33	29	31
受理面接回数	29	29	30	25	22
面接受理数	27	22	27	21	20

相談者受付

区 分	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
小学生以下	22	17	15	15	15
中学・高校生	7	8	4	8	9
大学生	0	0	0	1	2
成人・社会人	14	13	17	12	17
親	33(29)	32(28)	31(20)	32(27)	25(22)
総数	76	70	67	68	68

()内は親子並行面接の人数を内数で示す。

面接回数

区 分	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
受理面接	29	29	30	25	22
教育相談面接	0	0	0	0	0
遊戯面接	199	135	211	243	188
心理教育面接	288	207	285	414	312
臨床心理面接	175	176	227	223	204
心理検査	3	0	1	1	2
総数	694	547	754	906	728

5 - 6 - 4 . 附属実習観察園

本年度は、新たに技術職員を採用し、実習観察園の整備・充実を図り、教育・研究の場として期待される役割を今まで以上に果たしていくように新たな活動を展開した。

実習観察園施設及び作付け概略図

実習観察園の概略は下図のとおりである。本年度はバラ園を縮小して、畑地にし、モモやナシを伐採して、オープンスペースとした。

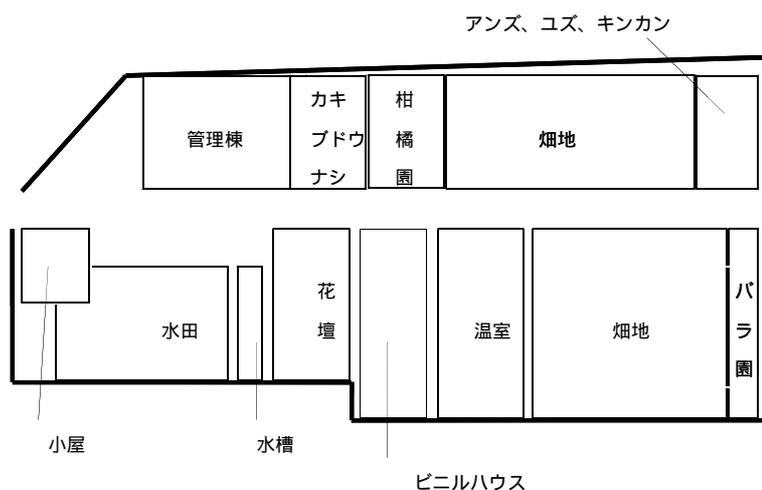


図1 施設・作付概要

作付面積及び作付植物

作付面積及び作付植物はそれぞれ表1及び表2に示したとおりである。作付け面積及び植物は、前年と大きく変わったところはない。主として学部生の実習及び学部生に対する標本展示に供試している。

表1 作付面積

種別	面積(m ²)	備考
畑地	352	教材・実習用、実験研究用
果樹園	255	教材・実習用
水田	70	実習、研究用
バラ園	35	園内美化、実習用
花壇	25	園内美化、実習用
計	737	

表2 作付け植物

種類	植物
野菜	(葉菜類)コマツナ、ホウレンソウ、キャベツ、レタス、キュウリ、ハクサイ、ブロッコリー
	(果菜類)カボチャ、スイカ、メロン、トマト、オクラ、シントウ、イチゴ、ピーマン、ナス、キュウリ
	(根菜類)ダイコン、ハツカダイコン、カブ、ニンジン、タマネギ
果樹	(マメ・穀類その他)ソラマメ、インゲンマメ、ダイズ、ラッカセイ、ジャガイモ、サツマイモ、サトイモ、トウモロコシ、ワタ
	ナツミカン、ハッサク、ネーブル、温州みかん、スダチ、ユズ、花ユズ、キンカン、カキ(富有、サエフジ)、ブドウ(ネオマス、ピオーネ、デラウエア)、ナシ、イチジク、アンズ
	(春～夏)ペゴニア、マリーゴールド、ペチュニア、サルビア、ゴテチャ、ポピー、カスミソウ、キンセンカ、バーベナ、トレニア、デモルフォセカ、マツバボタン、マツバギク、ヒマワリ、アサガオ、アスター、ハーブ類
花	(秋～冬)チューリップ、ナデシコ

教育(実習)活動

本年度は、表3に示した6つの授業で実習観察園を利用し、利用学生数は141人であった。

利用の内容は、草花や野草の種まき、育苗、鉢あげ、定植、誘引、芽欠き、収穫、バラの剪定、各種植物のさし芽による繁殖、畝たて、土づくり、花壇設計と制作などである。また、プランターや鉢植え栽培法、土を使わないハイドロカルチャーなどの各種栽培技術の指導も行っている。一方、果樹類については、開花の観察や摘花、摘果、無核化処理法(ブドウ)などの説明に活用している。

研究活動

理科や生活に関する子どもの興味、関心を広げることを目的とした、本年度の学内プロジェクト「デジタル技術を活用した協調的な学習支援を支援のための知識構築型学習システム」の一環として、附属住吉小学校2年生120名を対象に、ブロッコリー、ダイコン、ハクサイの栽培指導を行った。具体的には、後期に2度、実習観察園で、栽培を経験させた。また、本園技術員が写メールを使って、生育の様子をホームページにアップして、小学校で行っている栽培の指導ができるように準備を進めている。

その他

近畿教育系大学農場等協議会が、12月に奈良教育大学で開催され、国立大学法人化後における農場等のあり方について協議した。

実習観察園入り口右手の小屋(図1参照)に、鍬やスコップなどの農具をかけられる金具を設置した。また、管理棟2階の講義室に通じる階段の1階部分に扉を設置した。

さらに、実習観察園の整備計画を実習観察園長、事務長他で立案し、学部長に提出した。

表3 授業としての利用学生数

授業名	年度		
	15	16	17
植物環境学実験実習	20	22	15
生活環境緑化論	35	24	27
生活環境緑化植物論	29	29	28
幼児環境指導法	4	42	49
発達科学演習	14	0	10
植物栽培利用特論	5	20	12
計	107	137	141

5 - 6 - 5 . 人間科学図書館

床面積 1,504 m²

座席数 137 席

蔵書受入冊数

区分	種別	購入	寄贈 (科研費)	寄贈 (委任経理金)	寄贈 (一般)	製本編入	管理換	合計
平成17年度	和漢書	2,866	821	0	49	195	-161	3,770
	洋書	207	148	0	8	58	-58	363
	合計	3,073	969	0	57	253	-219	4,133
平成16年度	和漢書	1,934	744	16	107	200		3,001
	洋書	192	75	0	4	32		303
	合計	2,126	819	16	111	232		3,304
平成15年度	和漢書	1,868	399	40	15	224	-156	2,390
	洋書	375	120	0	0	88	-44	539
	合計	2,243	519	40	15	312	-200	2,929

年度末蔵書冊数

平成17年度	和漢書	235,610
	洋書	70,209
	合計	305,819
平成16年度	和漢書	232,583
	洋書	69,997
	合計	302,580
平成15年度	和漢書	229,857
	洋書	70,106
	合計	299,963

月別入館者数

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
平成17年度	人数	8,176	9,078	11,122	12,362	2,217	3,224	7,436	8,299	6,577	8,988	6,354	2,866	86,699
平成16年度	人数	8,092	8,436	11,164	12,508	2,301	3,583	8,426	8,891	7,678	8,730	5,922	2,790	88,521
平成15年度	人数	7,799	9,616	10,864	13,483	2,844	4,149	10,121	7,550	8,113	9,051	5,664	2,867	92,121